

ブリッジ BRIDGE

社会福祉法人 ゆうかり

88

04
2026



● 特集 『秩父から広がる共生のかたち-アメニティーフォーラム-』

● 甲冑工房見学 他
〈ゆうかり学園〉

● 卒園式、餅つき 他
〈ゆうかり保育園〉

● フラダンス 他
〈地域生活支援拠点ゆうかり〉



社会福祉法人ゆうかり HP

特集ページ

秩父から広がる共生のかたち

— 第29回アメニティーフォーラム、初の秩父開催 —

(開催日：2026年3月27～29日)

このたび、「アメニティーフォーラム」は第29回を迎え、初めて埼玉県秩父の地で開催されました。これまで第1回から第28回まで滋賀県にて継続的に開催されてきた本フォーラムにとって、開催地の変更は大きな転換点であり、新たな挑戦でもありました。

長年にわたり滋賀の地で培われてきた実践を秩父で開催するにあたっては、全国地域生活支援ネットワーク(以下、全国ネット)副理事長の岡部浩之さんが理事長を務める清心会のみなさまのご尽力、そして全国から結集した理事・会員施設スタッフの連携により、500名にのぼる参加者・登壇者のみなさまにもご満足いただけるフォーラムとなりました。

秩父は、祭りにあふれた街という印象があります。祭り文化から生まれる一体感は、「支える側」「支えられる側」といった一方向の関係ではなく、誰もが役割を持ち、関係性の中で共に生きる“共生社会”の姿を象徴しているように感じられました。



フォーラム当日は、我らが地元の宮路拓馬さんをはじめ、前参議院議員の衛藤晟一さん、福岡資麿前厚生労働大臣をはじめとした国会議員の方々、さらには障害福祉、医療、教育、地域づくりなど多分野の実践者が集い、それぞれの現場からの報告と対話が重ねられました。この4月からスタートした高次脳機能障害者支援法をはじめ、今後の課題である障害者基本法改正に向けた想いを共有する機会ともなりました。制度の枠組みの重要性を確認しつつも、それだけでは届かない領域にこそ、人と人との関係性に根ざした支援の本質があることを、あらためて実感しました。

また今回の開催では、ご当地秩父出身の落語家である



林家たい平師匠にもご登壇いただきました。軽妙な語りの中に地域への愛着や人と人とのつながりの大切さが織り込まれ、会場は笑いとともにあたたかな一体感に包まれました。



さらに、滋賀会場で行ってきたアール・ブリュットの作品展示やバリアフリー映画の上映、今回で3回目となる田島良昭展についても、秩父の地において実施することができ、多くの方々にご覧いただきました。一方的に伝える場ではなく、立場を超えて「共に考える場」として機能していたことに、アメニティーフォーラムの新たな可能性を強く感じました。

今回の秩父開催は、単なる開催地の変更ではなく、フォーラムのあり方を問い直す契機となりました。地域とともに育ち、地域から発信していく取り組みとして、今後の展開にも期待が寄せられています。

なお、会期中の3月27日には、当法人理事の北岡賢剛氏とともに大変お世話になりました、社会福祉法人昴初代理事長の佐藤進さんがご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。佐藤さんからは常に叱咤激励を賜り、鹿児島にも幾度となく足をお運びいただき、ご指導をいただきました。ハローキッズの実践に触れたことが当法人の保育事業の契機となり、「施設で暮らし続けることを当然としない」という視点は、現在の理念の根幹を形づくるものとなっています。そのご遺志と教えを胸に、これからも歩みを進めてまいります。

令和8年3月

NPO法人全国地域生活支援ネットワーク

社会福祉法人ゆうかり 理事長 水流 源彦



見学、甲冑の絢爛さに感服



精巧な工芸品と並んでピース



見学、歩き疲れ、空見上げる



ピース!



甲冑工房見学を終え門前にて



海辺のかつ定食うまかった



海辺の親子丼にピース



美味しい食事は、無口になるよね



これは本物のコーヒーと笑みこぼれる



次はお買い物だなと、時計見る



春を感じます



みんなで一緒に育てた子です



仲良く記念撮影してみた



お花見、一足先に♪

生活介護事業での外出

今回は生活介護事業での外出についてです。食事や買い物など、普段と違う環境の中で多くの笑顔が見られました。飲食店では、利用者さんが笑顔やあいさつで感謝を伝える姿も印象的でした。引率できたことへの喜びとともに、お店の対応にも感謝しています。次回の外出への楽しみも、より強く感じられました。

writer:川田 晃一

生産牛の飼育

現在、畜産班では生産牛を飼育しています。エサの準備や給餌の手伝い、牛舎の清掃など、利用者さんの能力に応じて役割を担当しています。自分たちが育てた牛が競りで買われると、皆さんの喜びにつながり、次の仕事への意欲にもなっています。新年度を迎え、「今年も頑張りましょう!」と気持ちを新たにしています。

writer:名越 敏彦



1月21日 餅つき



何米からできるかな?



頑張ってこねるよ♪



美味し〜い!!



2月3日 節分・豆まき



豆入れ作ったよ♪



たずけてええええ



怖いけど...ピース



3月14日 卒園式



手作りコサージュ



みんな素敵な晴れ姿



お父さんお母さん



いつもありがとう



自分らしさを大切に



また遊びにきてね♪

園庭の実

園庭の片隅で宝探しをするように、木の実を集めている子ども達。季節ごとに色や形が違う実を見つけては、嬉しそうに見せてくれます。ひとつひとつ丁寧に集めた木の実を『お料理』に見立てたり、お友達に『こっちにいっぱいあるよ』と教えてあげたり。小さな木の実を通して、さまざまな気持ちが育んでいるようです。

writer: 宇都 幸美

卒園式

今年も卒園の季節を迎え、ゆうかり保育園では3月14日にさくら組13名が卒園しました。クッキー作りやケーキ作りなどの食育活動を通して、たくさんの思い出ができました。「給食おいしい」「おかわりください」という声がとても嬉しかったです。これからもみんなを応援しています。

writer: 東園 愛花



初めてのフラダンス、難しい🙄



難しいけど楽しい〜(∇∇)
先生ありがとうございます。



桜島が見えるかな？



こっちむいて、はいチーズ!!



少しずつ覚えてきた。(^^)



男性陣もノリノリで
楽しめました(∇∇)/



一旦休憩〜 あっちは何かな？



カッコよく撮れた？



活動場が華やかになりました🙄



3月4日から、ぱすてるに通所を
してくださっているTさんです。



抹茶ラテ、おいし〜



クリームから食べようっと

フラダンス始めました🙄

令和8年1月より、ぱすてるでは月一回講師の先生をお呼びしてフラダンスを新たな活動として始めました。女性利用者の方々は、フラダンスの衣装(パウスカート)を着用して本格的なフラダンスを教えていただいています。きれいな衣装を着用した女性陣を見て、活動場にも花が咲いたようでした。

writer: 溝下 壮太郎

センテラス天文館 🚗

2月のぱすてる土曜開所でセンテラス天文館へ。展望エリアから桜島や錦江湾を眺め、カフェでゆっくり過ごされました。近くのギャラリーでは個展「宇宙を彩る花丸展」が開催されており、プレキシグラス(アクリル樹脂を原料とした透明度の高いプラスチック素材)にデザインが印刷されたアート作品を興味津々にみる方もいました。

writer: 古下 希

トピック 人命救助の大切さと難しさ



昨年11月6日に、地域生活支援拠点ゆうかり建物近くの路上で心肺停止となった1人の男性を、拠点職員の細元美和さん(写真真ん中)と帰宅途中の男性と女性の3人で人命救助を行い、鹿児島市消防局から表彰を受けられました。このニュースを聞き、同じ職場の仲間として

とても誇らしいと共に、ニュース記事を読んで適切な人命救助の大切さと難しさを改めて感じました。細元さんもその場では気が動転していて、うまく電話の操作が行えず119番通報が直ぐにできなかったと話されていました。法人では定期的に救急マニュアルの見直しや、心肺蘇生に関する研修も行っていますが、いざその場面に出くわした際は本当に動けるのか不安もあります。いざという時に備え、心構えや正しい対応の手順を再度学んでいきたいと思いました。

writer: 溝下 壮太郎

研修報告 保育者の職員間の環境について

鹿児島国際大学 福祉社会学部児童学科准教授 福島豪氏による研修に参加しました。研修を受けて、職場の雰囲気・人間関係は言葉から醸成される部分が多く、日頃の言葉かけに気を付けていきたいと思いました。一人一人の価値観も違う、合う

合わないも生じる。しかし、無理に合わせるのではなく、説明や話し合いを経て「納得すること」、相互承認ができている環境であることの大切さを学びました。

writer: 坂中 純子

長寿祝い おめでとうございます! 入職 よろしくおねがいします



喜寿
Nさん(S24年生まれ)

●ゆうかり学園

生活支援員/横山 さおり

●ゆうかり保育園

看護師/郡山 祐香里

新入職員からのコメント

「2月から勤務しています。利用者さんに寄り添う支援を心がけ、頑張ります。」

退職 お世話になりました

●ゆうかり学園

生活支援員/三橋 省三 事務員/松下 瑠美

「支援の現場から、地域へ

～ 草牟田エリアの事業と交流イベントのこれから ～」

地域生活支援拠点ゆうかり管理者 塩満 創

令和8年10月で9年目を迎える草牟田エリアの事業計画の概要及び地域交流イベントについてご報告させていただきます。

現在、拠点内では共同生活援助（グループホーム）と併設する短期入所（ショートステイ）、生活介護（通所）、相談支援、そして鹿児島市から委託を受けている地域生活支援拠点事業等を継続運営しております。残念ながら、人材不足等を理由にホームヘルプ関連の事業は廃止（令和6年9月）となりました。

今後の事業展開としては、拠点内での基本事業をフル稼働させ、各事業の活動内容を充実させていくことで、支援の質の向上を目指します。そのためには、人材の確保と育成が不可欠です。障害福祉分野だけでなく、誰もが興味を持つ地域交流の取り組みも充実させていく必要性を感じています。

地域とつながる取り組み

令和5年度から、年に1回、『そんなdeマルシェ』という地域交流イベントを企画・開催しています。地域の飲食店、鹿児島の人気店（洋服屋・雑貨屋）、美容室、クリエイター、その他福祉関連団体など、楽しみを共有する場を提供できる地域の仲間たちにご協力

をいただき、開催しています。『推しイベ鹿児島』さんにご協力いただき、様々なつながりを築くことができました。令和5年度から令和7年度までに3回開催してきました。第2回目以降は、生活介護事業所ばすてるのオリジナル商品の販売も行い、通所利用者の工賃アップにつなげています。これからも地域交流イベントを企画・開催し、福祉サービス事業所としてだけでなく、地域交流の拠点としての魅力を発揮していきたいと考えています。

今後の展開と目指す方向性

次なる展開として、拠点内の事業のフル稼働及び充実したスタッフ体制を整備した先に、草牟田拠点近隣での通所事業所の事業拡大を目指します。目標達成のためには、ここで働きたいと思ってもらえるような魅力的な事業展開や地域交流企画の実施が重要です。働き手と利用希望者（利用ニーズ）が増えていけば、次の展開を具体的に検討していくことができます。

私個人としては、ゆうかりでの業務を通して、令和4～5年度の2年間限定でしたが、県の芸術文化活動関連の事業に携わる中で、多くの魅力的なアートに触れる機会がありました。拠点内の生活介護事業所ばすてるを

含めて、県内の作家さんたちの素晴らしいデザインやアート作品に触れたことで、個人的にも小学校時代以来となる創作的な活動への興味が再燃しました。素人ではありますが、クリエイティブな創作活動を少し始めています。我が家は、妻と娘の3人家族ですが、それぞれが得意を持ち寄って、昨年度は市内で開催されたアートフェスに初参加しました。いつになるかは分かりませんが、絵本を描いてみたいという個人的な目標もできました。娘は、鹿児島市に遊園地をつくりたいという大きな夢を持っています。



公私は混同しないようにしていますが、相互に活かせるところは活かして、人生におけるそれぞれの目標を楽しみながら達成していきたいと考えています。



プロフィール

塩満 創（しおみつ はじめ）
生年月日：1982（昭和57）年3月2日
星座：うお座 / 血液型：B型
好きな動物：ナマケモノ
好きなものやこと：娘の描いたイラスト、サッカーやバスケットボール等のスポーツ観戦、桜島を眺める

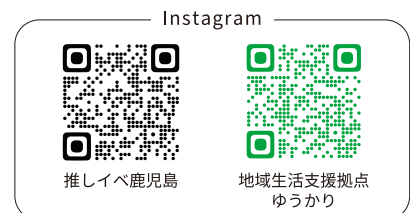
苦手なもの：アルコール、苦くて辛いもの

【短期目標】

家族でものづくりしてイベント参加、1週間に1回は運動する

【長期目標】

ワールドカップの試合を生観戦、絵本を描く



「トライアングルほめ日記」をご存知でしょうか。
 子どもと保護者と教師の三者間で取り組むもので、
 子どもが自分自身を褒めることで自己肯定感を
 育み、それに対して保護者と教師も褒めることで、
 親子の関係・教師と子どもの関係・教師と親の
 関係をより良いものにしていこうというものです。
 宿題で取り組むにあたって、「当たり前」を当たり
 前とせず、小さな気遣いや頑張りを褒めることで
 日常に彩りが出てきたように感じます。

writer: 甲斐 静華

= Event =

 ご家族も参加いただけます  地域の方々も参加いただけます

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり
5月	誕生者外出 10日 県障害者スポーツ大会	9日 親子遠足 12日 人形劇 13日 食育 20日 内科検診 26日 避難訓練	誕生会 土曜開所2回 人形劇鑑賞
6月	誕生者外出	3日 食育(うめ組) 4日 歯科検診 10日 食育(もも組) 24日 食育(さくら組) 30日 避難訓練	誕生会 土曜開所2回 避難訓練
7月	誕生者外出	1日 食育(うめ組) 24日 交通安全教室 8日 食育(もも組) 29日 食育(さくら組) 10日 避難訓練 18日 お泊り保育 23日 夏祭り	誕生会 土曜開所2回 水遊び会

発行責任者 理事長 水流 源彦
 ブリッジ編集委員会 川田 晃一・松元 詞子(ゆうかり学園) 甲斐 静華(ゆうかり保育園)
 溝下 壮太郎・古下 希(地域生活支援拠点ゆうかり)

ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520
 ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776
 地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

